

目指せ! ネットエスパー



インターネット 新検索術

インターネットの中に潜む膨大な情報たち。そこから欲しいものを見つけ出して活用するには、もはや1検索サイトだけでは役に立たない。ネットの海を自在に泳ぎ、必要な情報をすぐ取り出し活用する、そんな「ネットエスパー」に変身すればインターネットの利用価値は無敵になる。この連載で「ネットエスパー」に変身するスタートを切ろう!

二木麻里 (ARIADNE運営) ariadne.ne.jp
Illust: Ebisu Yoshikazu



第2回 世界の映画・映像情報に精通せよ

「『マトリックス』の台本が読めるサイトを知ってる?」、「来月香港で封切りされるのは何という映画?」、「西海岸の最先端CG会社は今何を制作中?」……この3つともさくさくネットで調べられたら、これはかなりの「通」かもしれない。でも、そんなに難しいことではない。探し方さえ覚えてしま

えれば、インターネットの映像通は、予告編サイトのクイズで満足してはいけぬ。世界の映画、映像のディープな情報源にいくらかでも精通できるのだから。この分野はもともとインターネットと相性がよく、ハイテク映像やインディーズ系の制作者たちは、インターネ

ットの黎明期からこのメディアを情報交換に使ってきたからだ。資料はたっぷりサイバースペースに流れ込んでいるので、知りつくすかも知れない。そんなわけで、今回はこう考えよう。「汎用検索サイトを一切使わずに、ネット上で映画を調べるにはどうすればいい?」

1 まずは定番から——映像総合データベース

まず定番資料として、巨大な映画資料庫「インターネット・ムービーデータベース」から始めよう。データベースは紙という重い媒体から切り離されてパッチャル空間を漂う、もっともネットらしい情報形態の1つだ。このインターネット・ムービーデータベースのすごさは、膨大なデータ量だけではない。内部リンクを駆使し、個々のデータ同士を

縦横につなぐ相互参照機能にある。1つの手がかりから、いくらかでも関連データをたどれるのだ。トップページ左上の検索カラムから、たとえば「マトリックス」の原題「The Matrix」を入力してみる。すぐにこの作品の詳細なデータが現れる。ジャンル、主要な配役と俳優、あらずし、評価、使用言語などで構成されたページから、たとえばキアヌ・リーブスの名前をクリックすれば、この俳優のプロファイルとこれまでの出演作品が登場し、再びそのデータを引き出せる。ここで作品や俳優といった基礎資料はまず揃うだろう。こうしたデータベースの日本版も、もちろん必要だ。日本で公開された洋画データベースなら「全洋画ONLINE」で調べられる。

膨大な情報量を誇るIMDb、トップページから記事が詰まっている。



邦訳タイトルから原題を引けるし、その逆もできる。前出の「マトリックス」の原題やスペルがわからなければ、ここで日本語で入力して検索できるわけだ。そして日本で制作された邦画を調べるなら、「日本映画データベース」がある。野村裕介氏制作のしっかりしたデータベースで、実に明治32年から平成10年までに製作された邦画資料が蓄積されている。心強いサイトだ。

「インターネット・ムービーデータベース」The Internet Movie Database (通称IMDb・米)
us.imdb.com
 「全洋画ONLINE」
www.stingray-jp.com/allcinema/
 「日本映画データベース」
jmdb.club.ne.jp



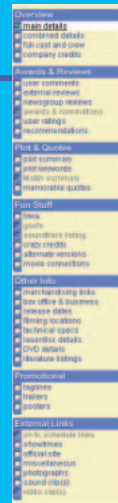
文字情報がメインだが読み応えある「全洋画ONLINE」。



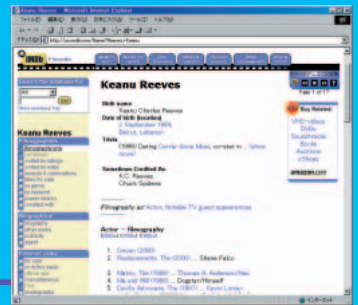
「マトリックス」の作品介绍部。5スクロールにわたる長さだ。



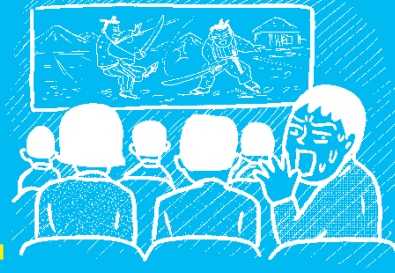
作品介绍部の右上には「PAGE FLICKER」があり、この作品について全部で何ページあるかを示している。「マトリックス」はなんと33ページ！



左側にはその「PAGE FLICKER」でカウントされたページの内訳を示す表示があり、現在のページには緑色のマークが付いている。スタッフ全員のリストからユーザーのコメント、DVDの発売日や値段など細かい情報も収録されている。



主演のキアヌ・リーブスのプロフィールや全出演作はもちろん、恋愛ゴシップまでわかる。



2

周辺情報も効率よくゲット

——地域別の映像検索サイト

こうして作品の基礎データが手に入ったら、さらに幅広い情報をゲットしよう。映画はもちろんハリウッドだけではなく、味のあるヨーロッパ映画、元気なアジア映画など、それぞれの動向を知りたい。こうしたジャンルに精通するには、映像専用検索サイトやニュースサイトを活用する。

たとえばカンヌ映画祭やフランス映画の関連記事なら「アロシネ」などが手軽だ。トップページを訪れると左のカラムに最新ニュースが掲載されていて、ベルモンドの入院記事が出ていたりする。こうしたサイトはしばしば検索サイトとしての機能を持っているので、現地情報と作品情報がまとめて入手できる。たとえばキーワード「Jeanne」を入力すると、リュック・ベッソンの「ジャンヌ・ダルク (1998)」など20本の作品がヒ

ットする。監督名の「Besson」をクリックすると次は作品の公式サイトへのリンクが登場する。小回りが利いて使いやすい。

ドイツ映画の専用検索サイトとしては「シュピールフィルム」などが優れている。たとえば「Kikujiro」で引くと、北野武の映画の紹介や映画評がちゃんと読めるのだ。こういうサイトを通じて、実は日本映画の国際的な評価も簡単にわかることに気付くだろう。米国からは「フィルム・コム」を挙げておこう。最新の映画作品、批評、販売開始のビデオ情報などをすぐに入手でき

「アロシネ」ALLOCIINE (仏)
www.allocine.fr
 「シュピールフィルム」spielfilm.de (独)
spielfilm.de/archiv/
 「フィルム・コム」Film.Com (米)
www.film.com

る。米国封切りの映画情報は、日本より概して半年は早い。

米国系サイトと共通する構成なので、フランス語でもわかりやすい「アロシネ」。こういった英語以外の西ヨーロッパ言語圏サイトは、1月号のこの連載で紹介した「Alta Vista Translation」(babelfish.altavista.com) を使えば、英語に変換できる。





3 さらにつつこま

映像制作のプロフェッショナル情報

さて、こうして基礎データを手に入れ、映画の時事情報にも詳しくなった。次はより深く映像制作の内側を知りたい。ならば制作現場の人々から発信されるプロ向けのリソースを使わせてもらおう。たとえば「フィルムメーカーズ」はさすがに迫力がある。ここで「The Matrix」を検索すると、予告編サイトに加えて、ずばり台本そのものが出てくる。約140Kバイトの本文をちゃんと読めることに驚く。これなら恐らくほかの台本もあるに違いないと思い「スクリプト」のページ(Jump)を見ると、もう垂涎もの。アーサー・クラークとキューブリックが共同執筆した歴史的な名作「2001年宇宙の旅」の脚本や、「未来世紀ブラジル」、「タイタニック」、「恋に落ちたシェークスピア」などの脚本がごろごろ。あるところにはあるものだ。こうしたプロの関連サイトを探していくには、「ASC アメリカ撮影技術者協会」の「ウェブリンク」ページなどが役立つだろう。

さらに今や映画に欠かせない要素となっているCG制作の情報なら、「VFXプロ」や

「ビジュアルエフェクト・ヘッドクォーターズ」といった、映像テクノロジーの専門ニュースサイトやアーカイブを見てほしい。プロのアニメーターたちが情報源にする資料で、「タイタニック」のCGを担当したデジタル・ドメインやルーカス・スピルバークのILMなど、名だたる映像制作会社による関連情報や作品を探ることができる。求人情報まで掲載されている。



文字主体で地味な印象だがお宝的なものまで見つかる「フィルムメーカーズ」。

- 「フィルムメーカーズ」Film-Makers.com(米)
Jump www.film-makers.com
- Jump www.film-makers.com/Resources/Scripts/
- 「ASC アメリカ撮影技術者協会」 American Society of Cinematographers (米)
Jump www.cinematographer.com
- 「VFXプロ」VFXpro(米)
Jump vfxpro.com
- 「ビジュアルエフェクト・ヘッドクォーターズ」 Visual Effects Headquarters (米)
Jump www.vfxhq.com



最新ニュースから注目映画のCG担当者インタビューなど、CG業界に携わる(携わりたい)人にはたまらなく濃い内容の「VFXプロ」。求人情報ページに登場する企業も有名どころばかりだ。



4 特定ジャンルでデータベースに探す

世界のアニメーション関連リソース

前項でCGをご紹介したが、こうした映像の種類そのものを限って探す方法もぜひ使いたい。いわば「狭く」探すやり方といえる。たとえばアニメーションだけを知りたいければ、その専門検索サイトを使うほうが確実に早いはずだ。「AAAアードパーク」の「Search」ページで「Disney」と入力すると、ディズニーという会社の概要、ディズニーについてのメーリングリスト、キャラクター、ネット上のリソースの場所など、実に多角的な情報が出てくる。アニメ専門のガイドブック的なサイト「アニメ・ウェブガイド」や、アニメだけのランキング情報「アニメ・トップ100」などと組み合わせて調べるとよい。ヨーロッパ作品専門の「ヨーロ

ピアン・コミックス・オンザ・ウェブ」も挙げておこう。



文字ベースだが、ディレクトリーとフリーワード検索のどちらも優秀な「アードパーク」。

- 「AAAアードパーク」AAA Aardvark - WraithSpace Comics Index(米)
Jump aaa.wraithspace.com
- 「アニメ・ウェブガイド」Anime Web Guide(米)
Jump www.tcp.com/~doi/alan/webguide/awgHome.html
- 「アニメ・トップ100」Anime Top100(米)
Jump www.animetop100.com
- 「ヨーロッパ・コミックス・オンザ・ウェブ」 European Comics on the Web(ベルギー)
Jump cg-www.uia.ac.be/~erikt/comics/



ヨーロッパ作品のデータベースが貴重な「ヨーロッパ・

お助けツールここにあり! 充実! 世界各地の映画サイト

各地の映画サイトを巡る前に、まず最新の映画公式サイトをまとめて押さえよう。「ムービークリックス」①では今上映中の映画、これから封切られる予定のもの、ビデオになっている作品などをABC順に探せる。たとえば2000年2月封切り予定の「Lost Souls」などは、なんだか変な映像が見られておもしろい、日本では「とれなび」を使っている方も多いだろう。予告編を集めた専門サイトだ。

- 「ムービークリックス」Movieclicks.com(米)
Jump www.movieclicks.com
- 「とれなび」
Jump www.venus.dti.ne.jp/~tno6o8/
- 「フィルムインディア」Filmindia.Com(印)
Jump www.filmindia.com
- 「インド映画インデックス」The Indian Movies Index(印)
Jump www.gadnet.com/movies.htm
- 「中文電映資料庫」(中)
Jump www.dianying.com/en/
- 「香港電映」(中)
Jump egreto.stanford.edu/hk/
- 「メディア・サル」MEDIA Salles(伊)
Jump www.mediasalles.it
- 「イタリア映画オンライン」Il Cinema Italiano Online(伊)
Jump www.anica.it
- 「キノニュース・オンライン」Kino News Online(独)
Jump www.kinonews.de
- 「シネフィル」Cinefil(仏)
Jump www.cinefil.com
- 「ロシアフィリア」Russophilial(露)
Jump [dove.net.au/~rabogna/russian/rusos.htm#Section 5C](http://dove.net.au/~rabogna/russian/rusos.htm#Section%205C)

次に各国の映画専門サイト。アジアなら元気なインド映画界には、映画サイトがたっぷりある。その中から「フィルムインディア」と「インド映画インデックス」を挙げておこう。作品だけでなく監督や俳優、女優も調べられ、国内のほかの映画サイトへのリンクも豊富だ。また香港、中国の映画情報も見逃せない。中国、香港、台湾映画のデータを調べられる「中文電映資料庫」や、香港映画の「香港電映」で押さえよう。

ヨーロッパに移ると、まず各国の映画資料をまとめて調べられる「メディア・サル」が便利。あとはイタリア映画専門の資料なら「イタリア映画オンライン」がよいし、ドイツは「キノニュース・オンライン」②が使える。「キノニュース～」は公開情報にゴシップ、批評などドイツ国内の映画情報をまとめて得られ、簡単な解説と画像も見られるのでイメージがつかみやすい。こういった多角的な資料として、フランス語圏の「シネフィル」などもある。またロシアの映画資料も増えている。ここでは英語で探せるリンク集「ロシアフィリア」から映画の項を挙げておきたい。



5 今月のポータルキット

—— 広く、そして深く捉えるために

おさらいをすると、まず映画データベースで正確な基礎資料を把握する。ついで映画専門検索サイトとニュースで広く周辺情報をゲット。さらにプロフェッショナルな情報資源を使って制作内部のデータに深くアクセスする。あるいは分野を限って狭く探す、たとえばアニメだけを探すようなやり方も使える。また今回紹介した映画関連のサイトはDVDやビデオ情報を併設しているところが

多い。併せて活用して欲しい。日本で入手しにくいヨーロッパ映画のビデオを探したり、そもそもビデオ化されているかどうかを確かめたい場合は、2で挙げた映画専門検索サイトなどが便利だ。映画はハリウッドだけではない。アジア映画、ヨーロッパ映画、もちろん日本国内の映画サイトも忘れずに！多角的な情報キットを活用して、自分だけの「映画ポータル」を構築しよう。

1 導入	各種の映画データベース
2 専門	映画専門検索サイト
3 プロ	映像制作者が活用する内部情報
4 特定ジャンル	細分化した専門検索サイト
5 予告	作品ごとの公式サイトは基本
6 各地の資料	世界各国の映画サイトを活用

二木麻里(ふたき まり)
上智大学外国語学部卒。ライター・翻訳家。社会・人文科学系の国内外資料を案内した総合サイトARIADNEを運営。近著に『思考のためのインターネット』(筑摩書房ちくま新書)など。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp